

福岡空港の増設滑走路の
供用開始と運用に関する要望

令和7年1月10日

福岡県

福岡市

九州・西日本地域の発展を支える主要地域拠点空港として重要な役割を果たすアジアのゲートウェイである福岡空港は、多くの利用者から日本で最も利便性の高い空港という評価を得てきたが、特にピーク時間帯において、離着陸の遅延が常態化しつつあったことから、福岡県、福岡市は平成21年4月、福岡空港の過密化対策として滑走路増設の速やかな着手を求める意見書を国に提出しました。

国は、平成21年5月に滑走路増設の検討を進めることを決め、その後、「環境影響評価」などの手続きを経て、平成27年度に滑走路増設事業に着手され、令和7年3月末の供用開始に向けて順調に整備を進められていると承知しております。

こうした増設滑走路の整備効果を早期に発現し、増大する航空需要への対応をより確かなものとするために、次の事項について格段の配慮がなされるよう強く要望いたします。

- 一、 福岡空港の増設滑走路について、今後の更なる利活用の推進に向けて、可能な限り早期に供用を開始すること。
- 一、 増設滑走路供用後も、航空機の安全な運航や定時性を確保するとともに、周辺地域に配慮すること。

令和7年1月10日

福岡県知事 服部 誠太郎

福岡市長 高島 宗一郎